

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質                    (該当分類に○を付記)		
技術名称	常設墜落防止システム    ラッドセ	担当部署	
NETIS登録番号		担当者	立花隆志
社名等	ティー・アイ・トレーディング株	電話番号	03-5763-8177
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>梯子から墜落して亡くなる方がいること、また、ケーブル式の常設墜落防止システムが市場にないことから商品開発されました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>梯子にワイヤーを常設し、そのワイヤーをスライドする安全器(スライダー)を、梯子を昇降する作業者のハーネスに接続し、作業者の墜落事故を防止するものです。</p> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・墜落の防止</li> </ul> <p>安全器(スライダー)は通常の昇降では滑らかにワイヤー上をスライドしますが、墜落発生時はロック機能が働き作業者の墜落距離を1m以内に抑えて墜落の衝撃を最小限にとどめ、作業者の安全を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低価格</li> </ul> <p>背かごやレール式の墜落防止システムと比較し、大変安価。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>常設の梯子に設置可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風力発電所</li> <li>・送電・無線鉄塔</li> <li>・索道用鉄塔</li> <li>・建屋</li> <li>・高層構造物</li> <li>・煙突</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関    0 件（九州    0件、九州以外 0件）                  自治体      0 件（九州    0件、九州以外 0件）                  民間        11 件（九州    0件、九州以外 11件）</p>		

6. 写真・図・表



図1 設置図



図2 事例：建屋



図3 事例：鉄塔